

# ナショナルバイオリソースプロジェクト実験動物メダカ

平成14年度 研究運営委員会議事録

日時：平成14年12月 5日(木)13時～18時30分

場所：名古屋大学グリーンサロン東山会議室

出席者：山木昭平(名古屋大学生物分子応答研究センター長)、長濱嘉孝(委員長)、石川裕二、工藤明、近藤寿人、酒泉満、武田洋幸、堀寛、三谷啓志、山崎由紀子、若松佑子(以上委員)、今井義幸、柴田直樹、清木誠、丸山耕一(以上オブザーバー)、橋本寿史(事務局)

欠席者：井口泰泉、岡本仁

挨拶 名古屋大学生物分子応答研究センター長 山木昭平

中核機関所属長から歓迎の挨拶があった。

バイオリソース「メダカ」への期待 基礎生物学研究所 長濱嘉孝

長濱嘉孝研究運営委員会委員長を議長として選出し、議事を進行した。委員長からわが国の独自性のある研究の発展のために尽くしてほしいとの要望があった。

## 議事

1. プロジェクトの概要 名古屋大学 若松佑子

中核機関代表から概要の説明があった。

2. 担当者報告

1) 近交系 放射線医学総合研究所 石川裕二

2) 野生集団、性決定・性分化突然変異体系統 新潟大学 酒泉満

3) トランスジェニック系統 東京大学(新領域) 三谷啓志

4) 内胚葉・中胚葉性器官に関する突然変異体系統 東京大学(理学) 武田洋幸

5) 骨と血管に関する突然変異体系統 東京工業大学 工藤明(今井義幸)

6) 初期胚発生に関する突然変異体系統 科学技術振興事業団 近藤寿人

7) 自然突然変異体系統および透明メダカ 名古屋大学 若松佑子

3. 近縁種の収集・保存状況 信州大学 柴田直樹

信州大学(柴田直樹助手)において維持されている近縁種については、新潟大学(酒泉満教授)と連携の上で、バイオリソースプロジェクトの活動の一環として取り扱うことで合意した。また、次年度以降は再度、研究運営委員会において議論して決めることとなった。

4. 情報中核拠点について 国立遺伝学研究所 山崎由紀子

情報中核拠点担当者から説明があり、「メダカ」との連携が確認された。

5. NBRP ゲノム解析の現状と今後 東京大学理学 武田洋幸

メダカゲノム解析については、期待される成果(計100万リードの shotgun sequence)を全面公開することで合意した。当面はシークエンスの生データを公開し、加工後のシークエンスデータに関しては今後、議論を行うこととした。

6. リソースの保存技術の改良と普及 放射線医学総合研究所 石川裕二

平成14年12月14日に放射線医学総合研究所で精子凍結保存講習会を開催することとした。

7. Web と組織アトラス、Medaka Book 作成について 名古屋大学 若松佑子

本プロジェクトのホームページを作成し、情報中核拠点やメダカ関連のホームページとリンクすることとした。また、ホームページにはリソース利用の促進を図るため、メダカの実験プロトコルおよび組織アトラスを Web 上で構築できるサイトを設け、本プロジェクト担当機関を中心としたメダカ研究者によって情報の蓄積を目指すことで合意した。将来

的にはメダカブックの出版を目指すこととした。

8. 知的財産所有権とMTAについて

名古屋大学

若松佑子

無体物・有体物の寄託・提供については文部科学省作成のガイドラインに沿って各担当機関においてシステムを構築することで合意した。なお本プロジェクト担当機関は部局長(あるいはそれ以上の役職)の承認で契約を成立させる方向で各機関内の調整を進めることとした。